

press release

朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

〈報道関係のみなさま〉

スマホでSNSに気軽に動画投稿できる新部門もスタート！

なかまある Short Film Contest 2020 応募受け付け開始



株式会社朝日新聞社(代表取締役社長:渡辺雅隆)が運営する認知症に特化したウェブメディア「なかまある」(<https://nakamaaru.asahi.com>)は今年も、国内で唯一の認知症をテーマに絞ったショートフィルムコンテスト「なかまある Short Film Contest」を開催します。

2回目の開催となる今年度は、「クリエイター部門」に加え、5分以内の動画をSNSで募集する「フレンドリー部門」を新設。できるだけ多くの方に「認知症フレンドリー」な作品に触れていただくことを目指します。

昨年に続き、国際短編映画祭ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(SSFF & ASIA)などを手がけるショートフィルムの総合ブランド「SHORTSHORTS」のご協力を受けて5月1日から応募受付を開始。8月3日(月)に締め切ります。

SHORTSHORTS

なかまある Short Film Contest


認知症の新しいイメージを創ろう

クリエイター部門 映像のプロも!

フレンドリー部門 スマホでも!

締切 8/3

賞金 30万円

〈お問い合わせ〉
 >  朝日新聞社 メディアデザインセンター編集第1部
 なかまある編集部 担当・神出、加藤
 E-mail:nakamaaru@asahi.com



press release

朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

今回より、コンテストは2部門構成となります。新設の「フレンドリー部門」では、SNS 上で、「認知症フレンドリー社会(暮らしやすい社会)」、「もし自分が認知症になったら伝えたいこと」、「認知症のわたしから希望のボタン」といったテーマにもとづく動画投稿を呼びかけます。スマホを使って簡単に投稿できる部門です。より幅広い方々に、認知症のイメージを変えるきっかけづくりとしてご参加いただきたいと考えています。昨年に引き続き、「クリエイター部門」では、映像作家のみなさんの出品を対象としています。

応募された作品はコンテスト事務局の審査を経て、2020年9月に選考結果を発表します。秋には授賞式の開催も予定しております。優秀作は、なかまあるを始めとする朝日新聞社が運営するメディアでご紹介します。

- ・募集期間: 2020年5月1日(金)～8月3日(月)
 - ・募集部門: ①クリエイター部門 ②フレンドリー部門
 - ・作品の尺: ①40分以内 ②5分以内
 - ・賞: ①最優秀賞 賞金30万円ほか ②オーディエンスアワード5万円、なかまあるフレンドリー賞5万円
- ※賞の名称、賞金等は変更の可能性があります。

なかまある Short Film Contest 2020 の詳しい情報(応募概要など)はこちら

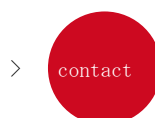
<https://nakamaaru.asahi.com/article/13333739>

【応募に関するお問い合わせ】

なかまある Short Film Contest 事務局(株式会社パシフィックボイス内)

電話:03-5474-8201 メール:submission@shortshorts.org

「なかまある」は、朝日新聞社のバーティカルメディア・プラットフォーム事業「ポトフ」(<https://pot.asahi.com/>)のひとつです。趣味やテーマを深掘りする特化型メディアを順次立ち上げ、コミュニティづくりを目指していく事業です。



〈お問い合わせ〉

朝日新聞社 メディアデザインセンター編集第1部
なかまある編集部 担当・神出、加藤
E-mail:nakamaaru@asahi.com